

平成30年宇治田原町予算特別委員会

平成30年3月23日

午前10時開議

議事日程(第4号)

日程第1 現地審査

1. 出席委員

委員長	5番	浅田晃弘	委員
副委員長	8番	藤本英樹	委員
	1番	谷口重和	委員
	2番	松本健治	委員
	3番	垣内秋弘	委員
	4番	馬場 哉	委員
	6番	原田周一	委員
	7番	山本 精	委員
	9番	山内実貴子	委員
	10番	今西久美子	委員
	11番	谷口 整	委員
	12番	田中 修	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町	長	西谷信夫	君
副町	長	田中雅和	君
教育	長	増田千秋	君
総務部	長	久野村観光	君
建設事業部	長	野田泰生	君
教育部	長	黒川 剛	君
企画財政課	長	奥谷 明	君

企画財政課課長補佐	矢野里志君
建設環境課長	垣内清文君
プロジェクト推進課長	山下仁司君
産業観光課長	木原浩一君
社会教育課長	岩井直子君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局長	村山和弘君
庶務係長	岡崎貴子君

開 会 午前10時00分

○委員長（浅田晃弘） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席委員は12名でございます。定足数に達しておりますので、きのうに引き続きまして予算特別委員会を再開いたします。

◎現地審査

○委員長（浅田晃弘） それでは、日程第1、現地審査に入りたいと思います。

昨日の委員会において確認いたしておりますように、1カ所目、奥山田化石ふれあい広場交流施設整備・運営事業、2カ所目に、奥山田大杉地域開発現場、3カ所目、宇治田原山手線整備事業、4カ所目、お茶の京都交流拠点整備推進事業（西ノ山集団茶園）の順により行ってまいりたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（浅田晃弘） なければ直ちに出發いたしますので、よろしく願い申し上げます。

なお、現地審査終了後、直ちに現地審査に係る質疑を行いますので、委員会室にお集まりください。

お手元の資料をお持ちの上、バスにご乗車をお願いいたします。

現地審査（午前10時01分～午前11時36分）

○委員長（浅田晃弘） それでは、現地審査ご苦労さまでございました。

現地審査4カ所について、直ちに質疑に入ります。

何かございませんか。谷口委員。

○委員（谷口重和） 奥山田のふれあい広場、化石公園、あの化石聞いてみたら、でかい岩もそのうち割れるやろうということでした。できたらある程度の大きさにまとめてもらっておいて、それから子ども来るなりしてもらったほうが、余りでかいのころころしているようでは見栄えも悪いし、それと、これ遊具あそこにできますわね、公園。これ奥山田は児童数なそんなにおらんとするんで、かなり他所からの人のほうが利用数が多いと思うんで、できるだけ回数もふやして活用してもらえるように、それだけお願いしたいです。

次に、2番目に行った奥山田の宇治田原カントリーに入る入り口の土砂の持ち込み、あれも現場でも指摘していましたが、相当量入っているように、また入り口もそのうちまた横のほうからも入る可能性もあるんで、それも先、先、先手打ってやっても

らうように、指摘もするなり指導してもらわなければならないと、今のところ見たら後手に回っているんで、まあまあ経費的に処置できる場合は、やっぱりそのような方法もとってもらわないと。

山手線は飛ばしまして、最後に集団茶園のところの展望台、あれもちょっと委員会で言っていましたけれども、ああいう工事はやはり底盤なりする場合はきちんと仕上げで、その次また二期工事やってもらわないと、途中でやって、また後で芝張ったりすると、やはり土にしろ何にしろ、一遍やった上にたたいておいて、その上へ張りつけるということは縁も切れやすい。ずっと周り見ていたら、やはり雨で流れるところも外へ出ていましたんで、常日ごろの管理はやっぱり産業課でしてもらうように。雨降ってから、どかつと行ってからでは遅いんで、その都度これはちょっとおかしいなというところはやっぱり先に手打って処置してもらわないと、それぐらい、現場見て意見として申しておきたいと思います。以上です。

○委員長（浅田晃弘） ほかにございませんでしょうか。松本委員。

○委員（松本健治） 2番目の大杉地区の関係なんですけれども、確かに見た感じ、現地でもおっしゃっていたんですが、あの状態は多分崩れることを想定したような、当然頭に入ったような状態でああいうものを設置されているというのは、ちょっとほかの地区のああいう太陽光のパネルとかなり違うなという、そういう意味では、意図が何か見え隠れしているなという感じがします。

それと、看板なんですけれども、ああいう現地にちょっと私気づかんかったんですけども、連絡先、それから担当者、そういうのを含めて、そういうのがもうちょっとははっきりするような形にすべきだろうと思うし、それと直接役場なりが向こうと接触されるのはもう決まっているんですか、誰かというのは。

○委員長（浅田晃弘） 野田部長。

○建設事業部長（野田泰生） 大杉地区の現場につきましては、基本的には事業主がおられまして、また事業主から現場の施工を請け負っている現場の代理人がおります。基本的には、すぐに対応しなければならないことについては、現場代理人のほうに直接連絡をとっております。まだ基本的に事業の根本的な指導に対しましては、現場代理人とあわせて事業主のほうへも連絡をとっているような状況でございます。

○委員長（浅田晃弘） 松本委員。

○委員（松本健治） できたら、言いましたように、もう少しはっきりあの現場でも先方に連絡先がわかるような形で明示されたほうがいいんじゃないの。ただ、直接話すると

ややこしいんで、それはそういうわけにもいきませんから、役場経由でなったりするでしょうけれども、やっぱり現場で掲示しておくほうが大事かなというふうに感じました。

それと、お茶の京都の交流拠点整備、これについては、いつも通るときにも思ったり、またきょうも改めて感じたんですが、本当に立地的にも景観の状況もいいわけなんで、昨日も申しあげましたけれども、もう少しどういう完成形になるのかというのを設定していただいて、取りかかってほしいなというふうに思います。

いずれにしても、平面に何かハート型を設置されるようなことじゃなかったですかね、あれ、あの場所にも。建ったやつですか。

○委員長（浅田晃弘） 野田部長。

○建設事業部長（野田泰生） 基本的には、平面的にくつわ池奥、山頂につくりましたあのようなものではなく、基本的にはもう少し立体的に何かハートが視界に入るような展開、仕掛けをしたいと考えております。

○委員（松本健治） 余りちょっと下品なものはつくれないでしょうけれども、できたら一緒に写真を撮れるようなハート型のそういうものをやっぱり持っていかれるほうがいいんじゃないかなというふうに思うのと、もう一つ、きょう特に気づいたんですが、あの傾斜、階段の横の、あれ何かああいう滑り台みたいな形のものも何かできればいいなと。子どもさんがちょっと一緒に来られときに、そういうような活用もあるんじゃないかなというふうな感じはいたしました。ぜひいい場所になるようお願いをしたいなというふうに思います。以上です。

○委員長（浅田晃弘） 垣内委員。

○委員（垣内秋弘） よろしいか。

○委員長（浅田晃弘） どうぞ。

○委員（垣内秋弘） じゃ1点だけ。西ノ山の集団茶園の関係ですけれども、観光で来られた方にできるだけ一見してわかるような、例えば面積とか、竣工した、何年たってるのか、大体8年ぐらいだと思えるんですけども、今の状態で、そんな詳しくは要りませんが、ちょっとしたポンチ絵みたいな位置図書いて、どんな茶園の種類が、大体6種類ぐらい植わっていると思うんですが、普通でしたらさみどりとかいろいろ、ごこうとか、そういうふうなことはわかるんですけども、新しい品種の茶園がかなり植わっていると思うんで、あれ山田知事来られたとき鳳春か何か言われていましたね。そういうふうな茶園のポンチ絵書いて、ここはどういうふうな種類のものが植わっているとか、できたらホワイトボード1枚ぐらいの感じで、全て一見わかるような感じのものを立ててい

ただかというか、設置していただければ、観光客に対してもPRになるのかなと、こんな感じがします。以上です。

○委員長（浅田晃弘） 野田部長。

○建設事業部長（野田泰生） ただいまのご意見でございますけれども、先日、町長のほうからも答弁ありましたように、町の概要とかもPRしていきたいということも思っておりますので、そこに加えまして、もちろん茶園のことについても、そこで表示できるようには今後検討していきたいと考えております。

○委員長（浅田晃弘） よろしいですか。

次に、今西委員。

○委員（今西久美子） すみません、皆さんおっしゃいましたけれども、大杉のところについては、もし大きい土砂崩れ等々が起これば、やっぱり307にも影響するんじゃないかというふうにちょっと不安がございます。それまでにきちんと安全対策をとっていただけるように、毅然とした対応を求めておきます。

それと、西ノ山ですが、皆さんおっしゃっていたことと私も同じようなことなんです。例えば正寿院なんかはハートで若い方が本当にたくさん来られているということもありますので、ちょっとどういうものになるか、ハートの展望台が、わかりませんが、ぜひとも若い方のお声をお聞きいただいて、観光客がふえるような工夫をぜひお願いしておきたいと思えます。以上です。

○委員長（浅田晃弘） 谷口委員。

○委員（谷口 整） 大杉の件については、各委員が実態見ていただいて、それぞれいろいろお気づきになっていただいて、今いろんな意見をいただいて、見ていただいたことについてよかったなというふうに思っております。

また、総括質疑でちょっと一部改めて確認はさせていただきたいと思えますので、その件はいいんですけれども、西ノ山集団茶園の拠点整備、そのこと自体ではないんですが、そこに行って、私ちょっと1点気がついたのが、いい茶園ができていますけれども、あれたしか15ヘクタールほどでしたかね。あそこから茶園が見えるんですが、ただその茶園のところどころでしけるんか、何か植えかえをしてあったりとか、もう立派な茶園になっている割には何かもう一つ色がよくないとか、せつかくあの茶園を見ていただくのにちょっとそこからの茶園の景色がこれいかなものかなということも思ったんですよね。

そのあたりで、湿気対策とかいろいろ農家でやっておられると思うんですけれども、

そこら今後やっぱり十分に指導なり、場合によっては助成も含めて、あそこから見れば
いいきれいな茶園が見えるんやということにさせていただきたいということをお願いして
おきます。以上です。

○委員長（浅田晃弘） ほかにございませんか。山内委員。

○委員（山内実貴子） 私も西ノ山の集団茶園のところなんですが、やっぱり宇治田原の
入り口というところで、まずそれにぱっと目に入るものというものを考えていただきた
いという中で、例えば時間的にどうかわからないんですけども、小中学生とか住民の
方にどんなところをしたいとか、何かそういう募集じゃないですけども、何かそうい
うふうなことを考えてもらえる機会があったらいいのかなと思ったりもします。

また、先ほど垣内委員からも言われましたけれども、本当にせっかくいろんなお茶の
種類があるので、ぜひそのお茶の種類の説明、ここからはどんなものが見えるみたい
な形の、前にハートの展望台に行ったときにもおっしゃっていましたが、見えるそ
ういう地図的なものもぜひしていただきたいなと思いますが、子どもたちとか、今から
そういう意見を聞くことはできるのでしょうか。

○委員長（浅田晃弘） 野田部長。

○建設事業部長（野田泰生） ただいまのご意見でございますけれども、検討いたしまし
て、その辺のことにつきましては、教育委員会ともちょっと連携する中で本当に取り組
めるかどうかは、ちょっとこの場でははっきりとした答弁できませんけれども、検討は
していきたいと思しますので、ご了承のほうよろしく願いいたします。

○委員長（浅田晃弘） 山内委員。

○委員（山内実貴子） ぜひいろんなお声を聞いていただいて、本当に楽しいところにし
ていただけたらと思います。ありがとうございます。以上です。

○委員長（浅田晃弘） ほかにございませんか。松本委員。

○委員（松本健治） 西ノ山の中でちょっと忘れていました。ちょっと私も例えば田原か
ら行く場合は右に入りにくい場合があるんで、町有地であるあの茶園のスペース、ちょ
うど南側の、あそこから道路を横断する歩道橋的なことを将来的には何かできるのかな
というふうに思っていて、ちょっと一度考えておいてほしいなど。一応そういうお
話でございます。

○委員長（浅田晃弘） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（浅田晃弘） ないようでございますので、現地審査についてはこのあたりでと

どめておきたいと思います。ここでお諮りをいたします。本日の委員会はこの程度にとどめたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(浅田晃弘) 異議なしと認めます。本日の予算特別委員会は、これにて散会することに決しました。

なお、次回は、来週26日月曜日、午前10時から委員会を開きますので、ご参集のほどよろしくお願い申し上げます。

申し合わせにより、本日の現地審査終了時までとしておりました総括質疑及び委員会での討論につきましては、総括質疑3名の委員より通告書の提出があったことをご報告いたします。

また、29日の本会議において討論を予定されている場合は、配付しています通告書に議案番号、議案名を記載願ひ、27日午後5時までに議長宛てに提出願ひます。

本日はご苦労さまでございました。

散 会 午前11時52分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会委員長 浅 田 晃 弘